

講義名	日本語D（話す）【留学生科目】		
科目区分	留学生科目		
担当教員	野村 由香里		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生が目上の人を意識した敬語を含む日本語表現を身につけることができるよう学習する。</li> <li>・ペアワークを用いて、実際に学生自身が遭遇するであろう会話場面を想定し、会話作成を行い発表する</li> </ul>

<b>到達目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生が日本社会において、目上の人と接する時に必要な敬語や表現、マナー等を身につける</li> </ul>

<b>提出課題</b>
授業中に指示

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
授業時に個別に指示

<b>評価の基準</b>
発表点と評価評点50% 中間試験25% 期末試験25%

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で習得した語彙や表現、会話などを実践の場で使用し、自分の言葉として身につけること。</li> </ul>

<b>教科書</b>
・使用しない。

<b>プリント資料及び参考文献</b>
ISBN 978-4-88319-361-5『会話に挑戦』 日本語ロールプレイ 中井順子他 スリーエーネットワーク2018 ISBN 978-4-88319-355-4『日本語上級話者へのかけはし』荻原雅佳子他 スリーエーネットワーク2008 ISBN978-4-88319-449-0『日本語超級話者へのかけはし』荻原雅佳子他 スリーエーネットワーク2008

<b>授業計画</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業ガイダンス/受講上の注意点</li> <li>2. 「先生を飲み会に誘う①」 語彙・表現の学習</li> <li>3. 「先生を飲み会に誘う②」 会話発表</li> <li>4. 「先生の誘いを断る①」 語彙/表現の学習</li> <li>5. 「先生の誘いを断る②」 会話発表</li> <li>6. 「先生に訂正を求める①」 語彙・表現の学習</li> <li>7. 「先生に訂正を求める②」 会話発表</li> <li>8. 中間試験</li> <li>9. 「目上の人に注意を促そう①」 語彙・表現の学習</li> <li>10. 「目上の人に注意を促そう②」 会話発表</li> <li>11. 「不満に対処しよう①」 語彙・表現の学習</li> <li>12. 「不満に対処しよう②」 会話発表</li> <li>13. 「困った状況を伝えて交渉しよう①」 語彙・表現の学習</li> <li>14. 「困った状況を伝えて交渉しよう②」 会話発表</li> <li>15. 期末口頭試験</li> </ol>

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ア：PBL（課題解決型学習）</li> <li>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</li> <li>ウ：ディスカッション、ディベート</li> <li>○ エ：グループワーク</li> <li>オ：プレゼンテーション</li> <li>カ：実習、フィールドワーク</li> </ul>

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
予習 60分 ・教科書に出てくる新しい語彙や表現等の意味を調べておく  復習 120分 ・授業時に学習した表現や語彙を使った会話を作成し、暗記しておく

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>

<b>実務経験の有無及び活用</b>

<b>備考</b>